

富良野市の脚本家倉本聰さん、滝川市出身の作家雨宮処凛さんらが呼びかけ人となり、電力政策の転換を求め「全国一斉さようなら原発1000万人アクションIN北海道」が18日午後1時半から、札幌市中央区北2西7のかでる2・7で開かれる。

呼びかけ人はこのほか、北海道がんセンター院長の西尾正道さん、北大名誉教授の小野有五さん、コープさっぽろ理事会議長の麻田信二さん。北海道平和運動フォーラム、安保破棄北海

## 「さようなら原発」18日、札幌で

### 倉本聰さんら呼び掛け

道実行委員会、ほっかいどうピースネットが実行委の事務局を務める。

昨年の福島第1原発事故後、ノーベル賞作家の大江健三郎さんらの呼びかけで始まった脱原発運動の一環。実行委は当面、北電泊原発1、2号機の再稼働中止を目指し運動を行う。18日は倉本さんとルポライターの鎌田慧さんらが集会で脱原発への思いを語り、市中心部をデモ行進する。無料。問い合わせは同フォーラム ☎011・231・4157へ。